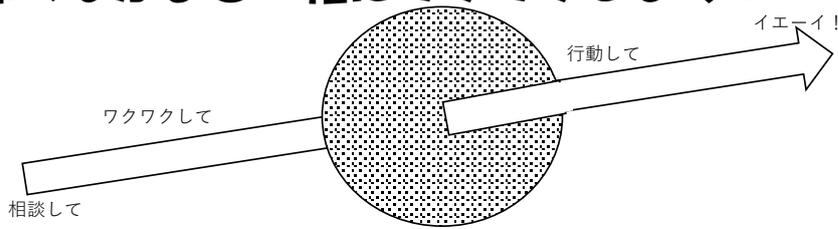


支部・専門部のなかまと一緒にワクワクしよう！



1 目的

- (1) 支部・専門部の絆をつくる・強める。多くの人に「主体的な組合活動」を体験してもらう。(組織強化)
- (2) 組合未加入の方に、組合の活動を知ってもらう、なかまに加わってもらう。(組織拡大)
- (3) 市民・父母も参加でき、教育について一緒に考えてもらえる機会にする。(市民・保護者との共同)

2 手段

- (1) 支部・専門部を単位にして、各種ブース等の企画・運営を行う。
- (2) 参加者が一同に介して学び合う講演会などを行う。 ※ できるだけ早く全体会講師の希望を届けてください。

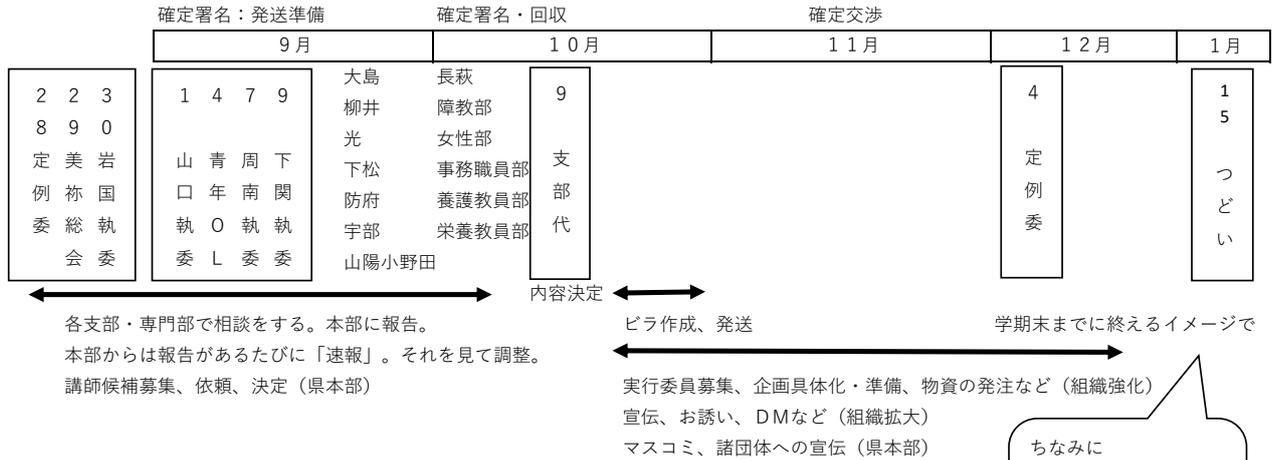
3 支部・専門部で相談するためのイメージ（日程、内容などの例示）

書店	民主出版社から新刊の取り寄せ、販売、返送。どの本を何冊取り寄せようかな。この本おすすめなんよね！
古本市	OBなどから、本や教具を寄付してもらう。連絡をして、受け取りに行く。これほしい人多そう！
弁当	お取り寄せ、テイクアウトなどからリストを作成。事前注文で販売。こんなお店があるよ！
カフェ	実はサイフォン持ちよるんよ！ コーヒーとスイーツにしようや。
ひじき	祝島のひじきを取り寄せて販売。漁を中止してボーリング調査に反対する運動を具体的に応援しようやあ！
上映会	満蒙開拓団についてまとめたアニメ映画を買ったんよ。パネル展示と上映会はどう？
講座	この実践を報告して意見が聞きたいな。あの人にあの話をしてもらおうやあ。 30分を単位として最大3コマまで。
アトラクション	組合と共済の宣伝、ラッキー抽選会。短い番組を作ってみようかな。景品は何がいいかな。

9：00入場可能、ブースごとに準備

	書店	古本市	弁当	カフェ	ひじき	上映会	講座室1	講座室2
10:00								
30								
11:00							ゲーム	特別支援
30							体育	音楽
12:00								
30								
13:00	アトラクション							
13:20	講演会							
14:55	案 制野さん 奥田さん ほかに							

4 スケジュール



ちなみに
1 / 29 教山協
2 / 11 女性部
鈴木大裕さん

5 支部・専門部で相談してください。

- 各種ブースに参加しますか。「できそうなこと」を探すスタンスで。
- やるとしたら、何を企画・運営しますか。ワクワクしよう！
- 誰に声をかけますか。ワクワクしよう！
- 次はいつ集まりますか。
- それまでに、しておくことは何かな。必要なら分担を。
- 結果を県本部に報告する人

6 財政関係

- 営利そのものは目的ではないが、財政圧迫を防ぐため、各ブースは赤字を出さない努力をする。
- 売り上げは、県教組財政に充てることを基本にする。
- 学習会とセットにするなどして、支部・専門部の会合に「つどい合い促進費」を活用することも。
- 支部・専門部財政から旅費などを支出することも考えられる。
- つどいへの参加案内と組合・共済への加入をセットで訴えて、対話促進費を活用することも。
- 支部財政から参加費や昼食代を補助することも可能。未加入者との交流会費とかも。
- たとえば、参加費2000円のうち、実行委員は1000円減免。差額を支部で補助とか。県本部からの「速報」を受信すること、当日の運営に参加すること、などを事項委員の条件とするとか。

7 提案のまとめ

- 支部・専門部でブース等の担当希望、開催の是非等を相談して本部に報告する。
- 従って、今回は「教育のつどい」の開催を決定するものではない。